

## 計画策定の経緯

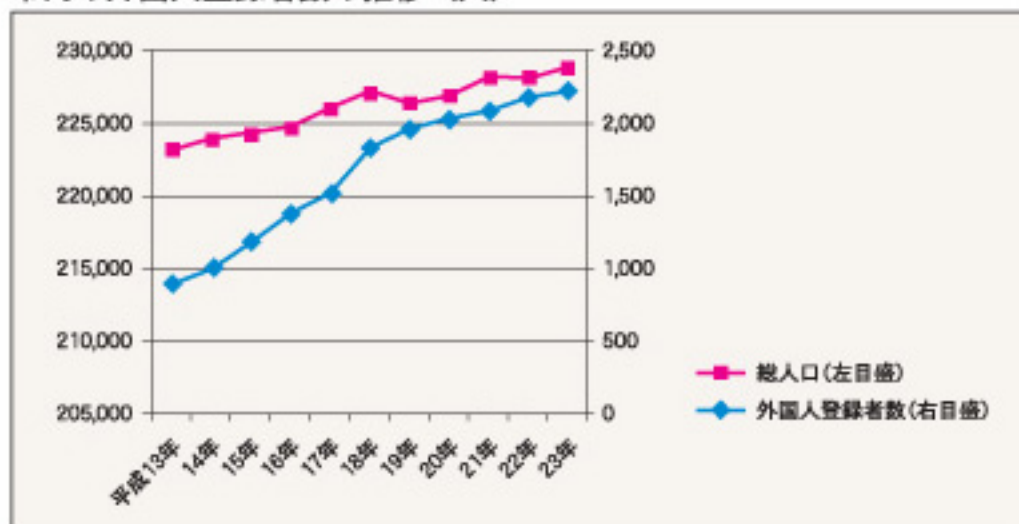
市では、平成5年に上尾市国際交流推進計画を、続く平成14年に改訂版の同推進計画をそれぞれ策定し、国際交流と国際協力を核としたさまざまな施策を実施してきました。しかし、「国際交流」から「多文化共生」へ向けた流れの中で、国や県の多文化共生についての取り組みや、平成23年に策定された「第5次上尾市総合計画」の方針を受け、今後10年間の計画期間とする「上尾市多文化共生推進計画」を策定することになりました。

## 上尾市の現状と課題

### 1. 外国人市民の現状

上尾市における平成23年4月1日現在の外国人登録者数は2,379人です。上尾市の総人口に占める割合は、1.05%であり、市民約100人に1人が外国人市民という割合になります。上尾市の人口増加に伴って外国人登録者数も緩やかに増加し、10年前の平成13年と比べると、約1.3倍に増加しています。今後も国際化の進展による外国人市民の増加が予想されます。

市内の外国人登録者数の推移（人）



### 2. 外国人市民を取り巻く課題

外国人市民の多くが、税金、年金、保険、教育や福祉など、日常生活のさまざまな場面で多くの困難を抱えています。

#### ●日本語能力

外国人市民の中には日本語能力が不十分であるために、行政や学校からの配布物など、生活上必要な情報の入手が困難な状況にある人も多くいます。

#### ●生活情報の不足

日本で生活する上で必要なさまざまな制度についての知識や情報の不足から、行政サービスを利用しにくい状況にあります。外国人市民が安心して暮らせるように各分野で支援が必要です。

#### ●多文化共生の意識

外国人市民と日本人市民が文化や習慣の違いを認め合い、お互いに理解し合って、共に住みよい地域づくりを進めていく必要があります。